



相模原大野ロータリークラブ

- ◆会 長: 布野 一番 ◆幹 事: 齋藤美希子 ◆副 会 長: 宮崎雄一郎
- ◆S A A: 笠井 透 ◆会報委員: 宮崎雄一郎 ◆URL: <http://www.s-oono-rc.jp>
- ◆事 務 局: 〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX: 042(755)0901
- ◆例 会 場: 相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
- ◆例 会 日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail: oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

2019 年 (令和元年) 10 月 31 日 第 1248 回例会

会長の時間: 布野一番



会長就任から随分経った様な気がしてありますが、実は未だ4ヶ月しか経っていないことに驚いています。とても長く感じているのは何故なのでしょう。今日は自分の事について、お話ししたいと思います。私が今の場所に事業所を開いたのが31歳の時で、12月で10年目になります。私自身失敗を恐れない人間だったので、開業した時に怖さを感じる事はありませんでした。1人で始めた当時は、44坪で家賃は35万円、勿論患者さんは0です。自分の頭の中には「失敗は成功の基」と言う言葉があったのだと思います。10年経って考えてみると、4,000万円以上家賃を払っている事になります。それでも何とかやって来られたと考えれば、「案ずるより産むが易し」で、怖さもなくて飛び込んで10年経って、今が一番不安に対して免疫が無いというか、何をやるにも先の事を考えて怖さを感じるようになって来ました。先週の例会でも、先々の事が見えなくなって来て、暗雲が立ち込めて八方塞がりの気分になり、合併や解散の方向に気持ちが行ってしまいました。結局、座間会員と角尾会員が手を挙げた事で、自分の気持ちの中では“何とかなる”と思え、自分は今年度会長として、例会を中心としたクラブ運営に集中して行く事だけを考えておりました。

幹事報告: 齋藤美希子

- ・クラブと会員のロータリーに関する意識調査のお願い
- 対象: 会長、ロータリー歴に偏りない4名
- 回答期限: 11/20 (水) WEB上で回答後事務局へ
- ・相模原RCより、地区大会お礼状

例会変更 ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

11/1 (金) 津久井 相模原グリーン※

11/8 (金) 津久井※

11/11 (月) 相模原東※

11/12 (火) 大和

週報受領 相模原南



クラブフォーラム

布野会長: 会長の時間にも出てきました「失敗は成功の基」は、“失敗すればその原因を反省し、方法や欠点を改めるので、返ってその後の成功につながる”ことになる。”という意味で、皆さんもよく知っている諺ですが、「良い花は後に咲く」という諺はご存知ですか。目先に大きな利益や良いものがあると飛びつきたくなるのが人間の性ですが、早くから咲き始める花より、後から咲く花のほうが美しいという意味で“立派で充実したものは、時間を充分かけて後からできる。立派なものはそう易々とは出来上がらない。”という事だそうです。「蟻の想いも天に届く」は、“例え微力であっても、一心に願えば望みが達成される”という意味です。「雲の上はいつもきれい」は、“厚い雲に覆われ気持ちが沈んでいても、実は雲の上は快晴で何時か雲も消えて気持ちも晴れる。”と言う事のように、くよくよせずに前向きに行きましょうと言っています。「思い立ったが吉日」は、“何か物事を始めようと思ったら、日を選ばずに直ちに着手するのが良いという教訓で、物事をするのに良い日のこと。”で、正に私が10年前に今の事業所を借りる時、軍資金は殆ど無く、手元に残った金額で半年持つかと言う状況でした。半年間、患者さんが来なければそれで終わり、と言うギリギリのスタートでしたが、何か「やれる」と言う感覚はありました。今は残念ながら経営危機に陥っていて、国からデイサービスに対しての鋭いメスが入った為ですが、それでも何とかなるのかな等と考えています。「案ずるより産むが易し」は、“始める前はあれこれ心配をするものだが、実際にやってみると案外たやすくできるものだという例え”で、思いきって行動する事も大事ではないかと思えます。私自身、会長と言う立場で、先々の事を考えてしまって、暗中模索の状態に陥ってしまいましたが、なるようにしかならないし、出来る事は、残り8ヶ月をどの様にクラブ運営して行くのかに集中していくことだと思っています。次年度の会長・幹事

が決まれば、現会長・幹事のすべき事は例会を中心とした役割で、他の憂いは無くなります。

笠井会員：時間や精神的に余裕が出来れば、ロータリーの勉強をしっかりやって頂きたいですね。

布野会長：諺を色々挙げてみましたが、知っていたのは「失敗は成功の基」だけでした。諺とは、格言・教訓・知識などを含んだ、世代から世代へと言い伝えられてきた簡潔な言葉で、その意味深さを改めて感じました。皆さんにも、好きな諺や格言があれば教えて下さい。

判治会員：私は「失敗は成功の基」の通りに大人になったような気がします。

笠井会員：私は若い頃から、物事を深く考えずにここまで来たような気がします。開業した時は、僅か7坪で始めましたが、実は開業する気は全くなく、獣医師の免許を持っているだけで、友人の手伝いをしていました。偶々両親が相模原に転居し、兄が遠方に居たため私が面倒を見なければならなくなり、思い切って相模原で開業しました。僅か7坪、賃料7万円、掻き集めた資金は30万円位しかありませんでした。30歳まではフラフラしていて、収入は全て遊びに使っていたから。開業して半年経った頃から、患者さんが増え始め、なるようになったと言うか、何とかあったという感じです。国道沿いですから、トラックが突っ込んで来たり、今まで面白いことも沢山ありました。人生色々あっても、何とかなるものですが、歳を重ねると不安になる事も多くなり、酒に頼る今日この頃です。

加藤会員：私は逆説的に物事を考える方です。良い方に考えると、上手いかなかった時の落ち込みが激しいので、悪い方に悪い方に考えるようにしています。

「終わりよければすべてよし」と言う諺は、物事においては結果が最も重要であり、過程は重要視されないと言う様に捉えられていますが、ミスをして結果良ければそれで問題はないという事ではないと思います。リスク管理としては重要です。

角尾会員：我が家の家訓は「己の欲せざるところは、人に施すなかれ」これは孔子の言葉で、“自分が嫌だと思ふような事を人にしてはいけない。”という意味です。「恕」は許すという意味で「おもいやりの郷」はここから名付け、自分がして欲しいと思うような介護を
出席報告 しましろうと職員に話しています。

大野会員：ゴルフは何故難しいかと言うと、ミスショットしか感覚が残らないからです。ナイスショットは、何故うまく打てたのか自分でも分かりません。ミスショットの感覚が残っているからスムーズなスイングが出来ないのです。「人間万事塞翁が馬」と言う言葉がありますが、“人生の幸不幸は予測できないものだという例え”です。例えば、大野 RC に入会して、気に食わない人、反りが合わない人がいたとしても、その人の繋がりでも知り合った人が良い人なら得になる訳で、一つの事がっかりしないという事でしょう。それなりに出来る事をするしかないし、今の日本がそういう状況に陥っているのではないのでしょうか。大手企業が役所化して、「石橋を叩いて渡る」どころか、叩き壊しているように思えます。チャレンジ精神を失い、何事も遅く、大学教育は只勉強するだけの教育から脱却しないと日本の将来は無いと思っています。米国の大学には国の補助金は無く、大学自身が研究開発をして起業させ、儲けを研究開発費に充て更に起業させるという好循環が出来、大学自身が力を持っています。日本も早く舵を切る必要があると考えます。良く「夢を持って」と言いますが、夢が叶う人は僅かで、叶わない人の方が圧倒的に多く、簡単に言うべき言葉ではないし、生きる力を身に付ける事が最優先です。

齋藤幹事：教職員間のいじめのニュースを見て愕然とし、空恐ろしさを覚えました。娘の中学受験の際、学校を選ぶ過程で、管理教育、東大に何人合格という学校が殆どでした。大切な6年間を如何に過ごすかが大事で自由な校風の学校を選び、本人も楽しく過ごしています。頭でっかちの官僚が国を動かし、訳の分からない税制を作り、国の将来に希望が持てません。子どもの教育は大事だとつくづく思い、公教育に失望しています。

加藤会員：次年度会長幹事も大事ですが、この規模になれば、身の丈に合った根本を考えるべきです。「ひばり」も本来は体育館、補助金あつてのホール、「次年度もホール」は想定するべきではないと思います。時期も11月なら体育館でも良いのでは。“次年度の事は次年度”ではなく、今年度の責任として道筋を付け、理事会で協議をし、実行可能な状況を作って引継ぎをすべきです。

齋藤幹事：「ひばり」は現実問題として大野では無理です。会長幹事会で引受けクラブの話をするつもりです。

布野会長：11/27 と会長の時間を使い乍ら話合います。

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率
14名	2名	7名	5名	1名	1名	58.33 %